

## 展覧会の概要

展覧会名 | コレクションによる特集展示

特集Ⅰ「戦争」

特集Ⅱ「ヒノマル・イルミネーション」

会期 | 2026年7月19日(日) - 9月22日(火・休) 会期中無休  
9:00~17:00 (入館は16:30まで)観覧料 | 一般当日800円(640円)、大学生当日500円(400円)、高校生以下無料  
※( )内は20名以上の団体料金。※年間観覧券所持者は無料。※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳及び被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)、高知県及び高知市長寿手帳所持者は無料。

会場：2階展示室B、C

主催：高知県立美術館(公益財団法人高知県文化財団)

後援：高知県教育委員会、高知市教育委員会、高知新聞社、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、KCB高知ケーブルテレビ、エフエム高知、高知シティFM放送

ロシアによるウクライナ侵攻、パレスチナ・ガザ地区で続く人道危機、アメリカによるイラン攻撃——。第二次世界大戦の終戦から81年を迎えるいま、「戦争」や「国家」は、私たちの日常から遠い言葉ではなくなりました。先行きの見通せない時代に、当館コレクションによるふたつの特集展示を行います。

特集Ⅰ「戦争」では、**オットー・ディックス**(1891-1969)、**アンゼルム・キーファー**(1945-)、**宮崎進**(みやざき・しん、1922-2018)の作品を通じて、戦争にまつわる表現に目を凝らします。

第一次世界大戦に従軍したドイツ人画家のディックスは、1,600万人が犠牲となった未曾有の殺りくを目撃し、600枚のスケッチを残しました。戦後1924年に発表した版画集《戦争》は、その悲惨さを赤裸々に伝える告発の記録です。本展では《戦争》全50点に加え、第二次大戦中のナチの略奪を題材にしたキーファーの《アタノール》、シベリア抑留の経験をもとにした宮崎の《ラーゲリの壁(コムソモリスク第3分所)》を一堂に紹介します。

国家を象徴する国旗。それに関わる表現は、いまなお社会的・政治的な議論の対象です。特集Ⅱ「ヒノマル・イルミネーション」では、**柳幸典**(やなぎ・ゆきのり、1959-)による同名の大作を、400平米の空間にただ1点展示します。

縦3メートル、横4.5メートル。本作はバブル期の繁華街に立ち並んだネオン看板のようなしつらえのもと、赤と白のネオン管がプログラムにしたがって明滅し、日の丸のイメージが絶えず変容します。ネオンが放つ鮮烈な光は、混迷する世界を生きる私たちに、多くの問いを投げかけるでしょう。

ふたつの特集における作家たちの切実な表現を通して、戦争や国家をめぐる想像を広げていただくことを願っています。

## 本展の みどころ

「戦争の記憶」と「国家の象徴」をテーマに、異なる世代・異なるメディアによる表現を通して、私たちを取り巻くいまの世界について考えます。

### ① オットー・ディックス《戦争》全 50 点を一挙公開

新即物主義を代表するドイツ人画家のひとり、オットー・ディックスが第一次世界大戦の従軍経験をもとに制作した版画集《戦争》全 50 点をご覧ください。本シリーズは、兵士の死体や負傷者、荒廃した戦場を克明に描いた「告発の記録」であり、戦争の悲惨さを真正面から突きつける傑作です。全点公開により、第一次世界大戦の実態を追体験するかのように入ることができます。

### ② 柳幸典《ヒノマル・イルミネーション》を 400 m<sup>2</sup>の空間に 1 点のみ展示

バブル期の繁華街に立ち並んだネオン看板を思わせる《ヒノマル・イルミネーション》は、どこかユーモラスでありながら、有無を言わさぬ迫力をもつ大作です。赤と白のネオンが絶えず明滅し、「日の丸」のイメージを揺さぶる本作を、広大な展示室にただ 1 点のみ展示します。さまざまな歴史を背負った国家や、その象徴である国旗をめぐる想像力が掻き立てられるでしょう。

## 出品作品 (全 53 点)

- ・オットー・ディックス《戦争》全 50 点 1924 年
- ・宮崎進《ラーゲリの壁 (コムソモリスク第 3 分所)》 1988 年
- ・アンゼラム・キーファー《アタノール》1991 年
- ・柳幸典《ヒノマル・イルミネーション》1992 年

## 関連イベント

### ① 本展記念対談 柳幸典×安田篤生

登壇 | 柳幸典 (本展出品作家)、安田篤生 (当館館長)

日時 | 8 月 30 日 (日) 14:00~

会場 | 1 階 講義室

定員 | 50 名 [無料]

予約方法 | 7 月 8 日 (水) 10:00 よりお電話 (088-866-8000 / 10:00~17:00) にて受付開始。定員に達し次第、受付を終了します。

### ② サタデー・レクチャー「オットー・ディックスの《戦争》について」

日時 | 8 月 15 日 (土) 14:00~

講師 | 奥野克仁 (当館学芸課長)

会場 | 1 階 講義室

定員 | 50 名 [無料・予約不要]

■ 広報用画像

- ・ご希望の画像の番号（a、b、c、d）をお知らせください。画像のトリミング・文字乗せはご遠慮ください。
- ・b、c、dに関しては、必ず下記のキャプション（太字下線は必須）もご掲載ください。
- ・掲載時には、正式な展覧会名と会期の表記をお願いいたします。
- ・掲載記事や VTR は展覧会開催の資料として保存しますので、若干部ご恵与ください。

【お問合せ先】

高知県立美術館（高知県高知市高須 353-2） tel 088-866-8000 / fax 088-866-8008

学芸課 展覧会担当 奥野克仁、塚本麻莉

連絡先 塚本 [mari\\_tsukamoto@kochi-bunkazaidan.or.jp](mailto:mari_tsukamoto@kochi-bunkazaidan.or.jp)

	<p>【広報用画像 a】                  展覧会ポスター メインビジュアル</p>
	<p>【広報用画像 b】  <u>柳幸典《ヒノマル・イルミネーション》1992年 高知県立美術館蔵 撮影：中嶋健藏</u>                  ©Yukinori Yanagi</p>
	<p>【広報用画像 c】  <u>柳幸典《ヒノマル・イルミネーション》1992年 高知県立美術館蔵 撮影：上野則宏</u>                  ©Yukinori Yanagi</p>
	<p>【広報用画像 d】  <u>アンゼルス・キーファー《アタノール》1991年 高知県立美術館蔵 ©Anselm Kiefer</u></p>